

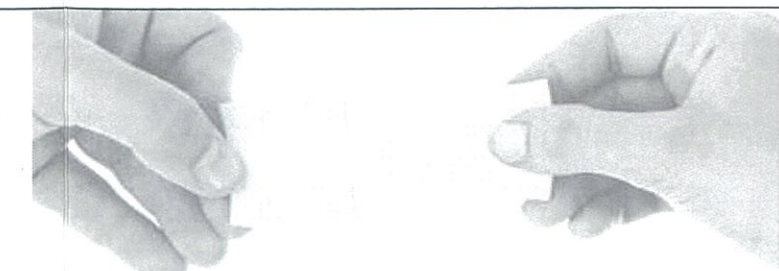
# (仮称)古賀市生涯学習センター(地域交流センター)及び周辺施設整備事業について

提案の考え方を記載してください。文章を補充するための最小限の写真、イラスト、イメージパース図、簡単な各階平面図等は使用してよいが、模型(模型写真含む)は使用してはいけません。

人と人をつなぐ - 活動の見える化により、市民交流の活性化を図ります

かたちをつなぐ - 既存建物とつなぎ、各スペースの活動を連携させます

みらいへつなぐ - 多くの人が長く使える、安全安心な施設を目指します



## 人と人をつなぐ 新しい生涯学習センターで既存施設をつなぎ、全体を再構築することで、市民交流の活性化を図ります

### 人が集い、活動が生まれるゾーンへ

#### 活動の拠点を中心部に

中央公民館や図書館・スポーツエリアに囲まれた中央部の広場に、今まで裏に隠れていた学習活動の場を移し、積極的に見せることで、世代を超えた新たな交流を促進します。

#### 既存施設をつなぐ屋内広場

施設をつなぐ中央部の広場を屋内化し、様々な展示やイベントを行う空間とします。この屋内広場を中心に、中央公民館や図書館等の既存施設、緑地空間や屋外広場等、様々な空間をつなぐことで人の流れを生み出し、学習・活動のきっかけを作ると同時に交流を促進し、ゾーン全体の活性化を図ります。



中心でつなぎ交流を促進する配置

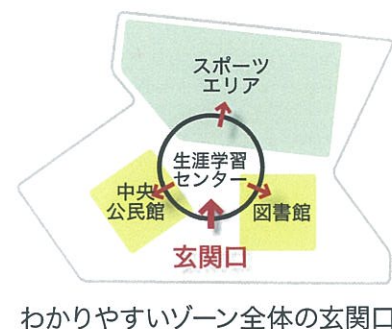


### 明快で利用しやすい、安全なエリア構成へ

### 人が集い活動が生まれる、人と活動をつなげる生涯学習推進ゾーンのイメージ

#### ゾーン全体の玄関口として整備

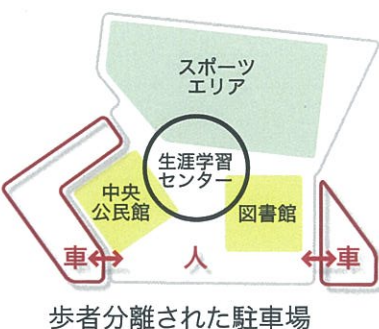
新たな生涯学習センターを、各施設とゾーン全体の玄関口とすることで、外部に対する全体の顔をつくります。これによりゾーン全体の管理、案内を集約し、利用者にとってわかりやすく、かつ効率的な運営が可能となるエリア構成とします。  
・周辺に空地を残すことで、将来の建替えや増築にも対応しやすくなります。



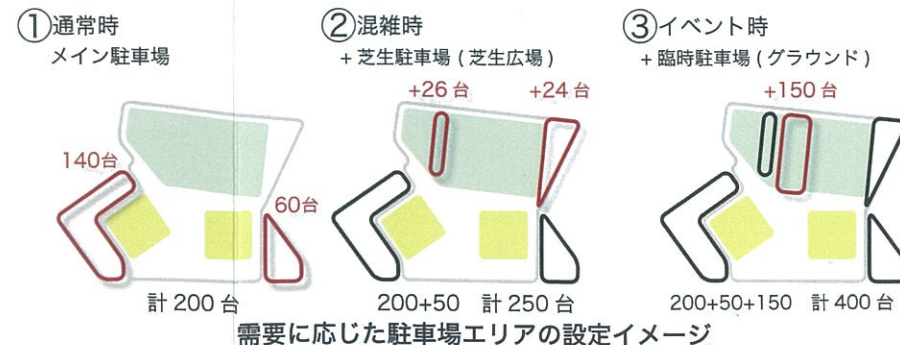
わかりやすいゾーン全体の玄関口

#### 歩車分離を明確にしたエリア構成

既存文化施設と新たな生涯学習センターを中央部に集約することで、中央部の人の活動ゾーンと両端部の駐車場ゾーンとの歩車分離を行い、安全性に配慮します。また駐車場の出入口をそれぞれ1箇所に集約すると同時に、球技場も含めた3段階の駐車利用を提案します。これにより安全で、将来の有料化も視野に入れた管理の容易な形態とします。



歩車分離された駐車場



需要に応じた駐車場エリアの設定イメージ